

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年11月22日 NO.60



花ちゃん 「あれあれ？上の写真（しゃしん）は何ですか？」

オー君 「第七小学校の『毛もの三兄妹』のタヌキでもなく、ハクビシンでもないぞ。」

花ちゃん 「そうね。アナグマでもなさそうですね。」

モンタ博士「はい！第七小学校のみなさん。新（あた）しいお友達（ともだち）です。」

オー君 「新しいお友達？何という動物（どうぶつ）ですか。モンタ博士。」

モンタ博士「これはね、『テン』というのさ。イタチよりもちょっと大きいのさ。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士！このテンはどうしたのですか。」

モンタ博士「1年生の保護者のOさんからおかりしているんだよ。」

オー君 「なるほど。これで第七小学校の『毛もの4兄妹』というわけですね。」

花ちゃん 「この『テン』というのは、どういう特長（とくちょう）があるのですか。」

モンタ博士「そうだね。モンタ博士が教（おし）えるよりも、自分たちで発見してごらん。」

オー君 「よーし。まず、体はどのくらいの大きさかな。ものさしを使ってはかるぞ。」

モンタ博士「ほほー。オー君。感心（かんしん）だね。ものさしと使うということは、

どのくらいの長さかがはっきりするね。科学的（かがくてき）でいいね。」

花ちゃん 「頭からおしりまでは、約50cmくらいですね。しっぽは20cmくらいあるわ。」

モンタ博士「そうだね。『イタチ』はおしりまで約35cm、しっぽは12cmほどだから、こ

れで、『テン』は『イタチ』よりもはっきりと大きいことがわかるね。」

花ちゃん 「長さがわかったら、重（おも）さも知りたくなりましたね。」

モンタ博士「よいところに気がついたけど、重さははかれないね。ある本によると、『テン』

は1500グラム、『イタチ』は500グラムくらいだそうだ。」

花ちゃん 「それでは、オー君。自分の目でいろいろと発見しましょう。」

オー君 「そうだね。まず、頭（あたま）は平たい感じだ。耳は丸いね。それに口はと

がっているよ。さらに体は細長くて、手と足は短（みじか）いね。」

花ちゃん 「いろいろな特長がわかってきたわね。オー君。五感（ごかん）を使って観察

（かんさつ）することも大切ですよ。さわった感じはどんなのかな。」

オー君 「うわー！ふわふわで気持ちいいよ。」

花ちゃん 「そういえば、お母さん書っていたけど、『テン』の毛皮（けがわ）って、とっ

ても高（たか）いそうですよ。」

オー君 「ふーん。なるほどね。ところで、『テン』はどんなものを食べるんだろう？」

花ちゃん 「図書室（としょしつ）やインターネットで調（しら）べましょう。」

モンタ博士「それはすばらしいね。たくさん調べてごらん。あ！そうだ。えさを食べたら

その後はウンチをするだろう。その写真を持ったいたぞ。よし見せてあげる。」

オー君 「じぇじぇじぇ！『テン』のうんちだ。」

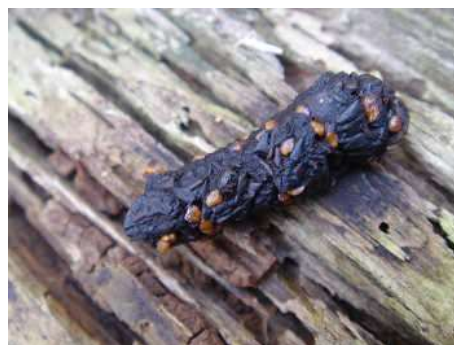
花ちゃん 「モンタ博士もへんなものを持っていますね。」

モンタ博士「まあね！それでは、この『テン』の剥製

（はくせい）は校長先生にお願いして、校長

室の前に置（お）かせてもらおう。ちょっと

さわってもいいけど、やさしくさわってね。」



「テンのおきぐそ」といいます！